



難関簿記3試験合格

県内の高校生で初めて

大分商業高3年 古賀怜王人さん



県内の高校生で初めて簿記論、日商簿記1級、全経簿記上級の三つに合格した古賀怜王人さん＝大分市西浜の大分商業高

【大分】大分市西浜の大分商業高3年の古賀怜王人さん(18)が税理士の国家試験科目の一つ「簿記論」に、県内の高校生として15年ぶりに合格した。日本商工会議所の簿記検定1級(6月)、全国経理教育協会の簿記能力検定上級(7月)と合わせて、簿記の難関試験三つの合格を達成。県内の高校生で初めてという。

古賀さんの目標は「20歳で公認会計士の資格を取得すること」。税理士の試験科目に含まれる「簿記論」と「財務諸表論」の両方に合格すれば、公認会計士の試験のうち「財務会計論」が免除され、目標に一步近づく。

1科目ずつ受けられるため、日商簿記1級、全経簿記上級の受験後、「簿記論を1回受けてみよう」と市販のテキストを参考に学習を重ね、8月に初めて挑戦。全国の大学生や社会人を含む1万6093人が試験に臨み、合格率は17・4%の狭き門だった。11月30日に発表があり、県内の高校生としては2人目の快挙となった。

「これまで学んだ簿記に

税理士特有の論点が追加され、少し難しかった。自宅に合格通知が届き、「何で受かったのだろうか」と驚いた」と笑顔で話す。

この夏まで簿記部の副部長を務めた。同部の長倉幸蔵顧問は「意志が強く、目標を定めてからの加速がすごい。同級生から一目置かれ、後輩にとつては憧れの存在」とたたえる。

卒業後は特待生として合格した高崎商科大商学部会計学科会計プロフェッションナルコース(群馬県)に進学する。来年8月には財務諸表論を受験し、簿記論に続いての合格を目指す。

「在学中に公認会計士になり、実務経験を積みたい。将来的に大分で会計の知識を生かして企業に助言するなどし、地元の盛り上げにつなげたい」と目を輝かせた。(坂本陽子)



〔問①〕 古賀さんが合格した簿記の難関試験3つは何でしょう。

答え 【 _____ 】
【 _____ 】
【 _____ 】

〔問②〕 古賀さんが目指す公認会計士のため、もう1つ取っておきたいと願う試験は何でしょう。

答え 【 _____ 】

〔問③〕 古賀さんは公認会計士を目指し、道筋をつけて努力しています。
あたなが目指す将来像は何ですか？ そのために必要な資格や能力を調べよう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....